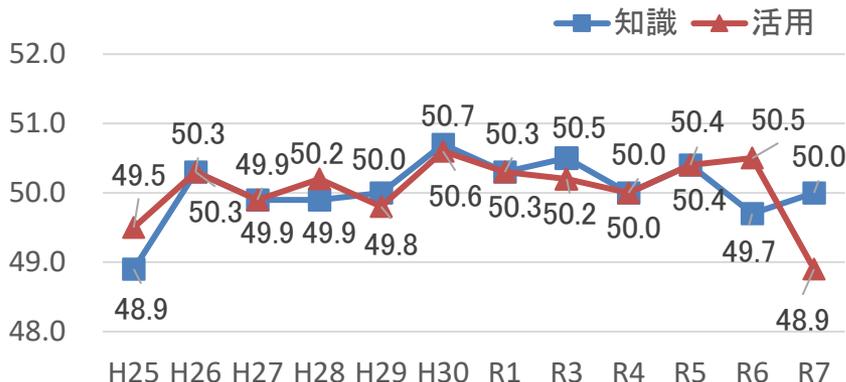


※目標値・・・学習指導要領に示された内容について標準的な時間をかけて学んだ場合、正答できることを期待した児童・生徒の割合を示したもの。

## 結果のポイント

### 1 偏差値の経年変化



▲活用は偏差値50を下回っている。

### 2 観点別の結果

観点	県正答率	全国正答率	目標値
知識・技能	53.4	53.3	55.6
思考・判断・表現	45.1	47.3	47.0

○知識・技能は、全国正答率を上回っている。  
▲思考・判断・表現は全国正答率を下回っている。

### 3 領域別の結果

領域	県正答率	全国正答率	目標値
聞くこと	58.1	60.1	60.6
読むこと	47.0	47.9	50.8
書くこと	44.4	44.8	44.0

▲全ての領域において、全国正答率を下回っている。

### 4 解答形式別の結果

解答形式	県正答率	全国正答率	目標値
選択	54.0	55.3	56.8
短答	58.5	58.5	55.0
記述	36.6	37.5	38.9

▲「選択」と「記述」において、全国正答率を下回っている。

## ■ つまずきが見られた問題

### 大問12

県正答率 44.8% 全国正答率 49.5%  
 県無解答率 36.2%

#### 【問題例】

あなたは、夏休み明けの学校で、ALTのジェysonに、次のようにたずねられました。ジェysonからの質問に対して、あなたは何と答えますか。具体的な説明も含めて、3文以上の英語で書きなさい。



Hi. Long time no see! I went to Kyoto and visited some famous places. What did you do during your summer vacation? Please tell me!

【課題】 主に、以下の2つの課題が考えられる

- ▲読み取った質問に対して、何を書けばよいかわからない。  
 →目的や場面、状況等に応じた適切な表現が思いつかない。
- ▲質問の英文を読み取ることができていない。  
 →「知識及び技能」の確実な定着に課題がある。

## ◆ 指導のポイント

- (1)型やフレームを示さずに、目的や場面、状況に応じて、自分の考えや気持ち等を話したり書いたりする活動を授業に仕組む。
- (2)対象となる言語材料等について、確実に定着させるように指導を工夫する。
- (3)特に、中学校第1学年の「読むこと」「書くこと」の学習活動において、小学校外国語科での学びを指導に生かす。

## ★ 指導の具体例

(1)目的や場面、状況等に応じた適切な表現について書いたり話したりできるようにするための指導のポイント

- フレームや型を明示せずに、話したり書いたりする活動を設定する。  
 →一単位の授業のみでなく、単元を通して段階的に指導することにより、生徒が表現などを積み重ねていくことができるように工夫する。
- 生徒が表現した内容について、目的や場面、状況等に沿っているかについて、生徒が考え、内容について吟味できるような指導をする。

(2)言語材料等を確実に定着させるための指導のポイント

- 当該言語材料等が使用されている文章を少しでも多く聞いたり読んだりできるようにする。  
 →教師が指導したい言語材料等を多く使って話したり、生徒とやり取りしたりする等
- 該当の言語材料等の提示がない中で自分の考えや気持ち等を話したり書いたりさせることを通じて、「このことを表現したいときはこの言語材料を使用すればよい」ことに気が付かせるようにする。
- 当該言語材料等を指導した単元にとどまらず、帯活動や単元終末の言語活動等において、繰り返し活用させる。

指導した言語材料等を正しく使用することができるようになるためには、ある程度時間が必要 → 繰り返し指導することが重要

(3)特に、中学校第1学年の「読むこと」「書くこと」の学習活動において、小学校外国語科での学びを指導に生かす。

- 小学校外国語科での指導を踏まえて、対象となる語句や表現について読んだり書いたりする前に、聞いたり話したりする等、音声で十分に慣れ親しむ学習活動を計画する。
- 特に、中学校第1学年の「読むこと」と「書くこと」の学習活動においては、小学校での学習内容や指導等を踏まえた上で、丁寧に指導する。